

平成20年度第1回図書館協議会議事録

平成20年8月27日(水)午後1時30分～
米子市役所第2庁舎 2階 第2会議室

1 開会	
渡部課長補佐 足立教育長	<p>ただいまより平成20年度第1回図書館協議会を開会します。 はじめに足立教育長あいさつをお願いいたします。 お忙しい中ありがとうございます。 行財政改革の中で、市民のサービスに答えられない部分もありますが、ご理解をいただきたいと思います。 今日はいろいろと忌憚のない意見をいただきたいと思います。</p>
渡部課長補佐 齊下館長	<p>この4月より図書館長になりました齊下館長より一言お願いします。 4月よりお世話になっております館長の齊下です。今まで図書館や社会教育が未経験で、初めての経験をさせていただいています。これからもいろいろと教えていただきながらすすめて参りたいと思いますのでよろしく願いいたします。</p>
2 会長挨拶	
渡部課長補佐 大原会長	<p>続きまして大原会長より挨拶をお願いします。 お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。 昨年度は専任の館長不在でしたが、各方面、また、この協議会でも館長配置をお願いしてありましたところ、館長を配置いただきうれしく思います。しかし、図書館の抱える問題がこれで解決したわけではありません。 中央教育審議会の2月答申では、図書館はいわば地域の知の拠点であり充実を図られるべきといわれますが、はたして米子の図書館は問題ないのかどうかということについてお話いたします。 去る7月19日、県立時代の松尾館長(当時)を偲ぶ会が行われました。その中で図書館関係者の一人が「米子の図書館が心配である。県内四市の中でサービス指標が低く、ねじれた状況にあり憂慮している」という発言がありました。日本海新聞でも図書館の問題について取り上げていただきました。 松尾先生は著書の中で、『昭和53年の県立図書館建築当時、書庫の拡張を視野に入れて計画すべきだと主張したが退けられた』と書いておられます。米子市は当時の人口が13万人、収蔵数は15万冊。現在は人口15万人で、24万冊の蔵書を抱えています。 指標を見ると、市民一人あたりの蔵書が、米子は1.6冊、鳥取は2.4冊、倉吉は3.8冊、境港は3.6冊です。蔵書数が少ない、入れようと思っても入れられない、寄付も受け入れられないし、入りきらない図書は図書館まつりで市民に提供されるといった、収容能力パンクといった状況です。このように施設の面から市民のサービスに答えられない、ということが言えます。面積も鳥取の2/5、倉吉の2/3しかありません。新築するのが一番いいのですが、「伯耆の国文化創造計画」でどんな風に進んでいるか、あとでお答えいただきたいと思います。</p>

次に、資料費（図書購入費と雑誌等の購入費を合わせたもの）は住民一人あたり、米子は103円、鳥取が200円、倉吉が165円、境港が176円、安来は318円。平成17年度までは米子市の資料費が2,000万、18年度は1,500万、19年度は1,300万、20年度は1,400万（当初）です。十分に資料が買えない状況です。

そして、職員数は米子は14人、鳥取は36人、倉吉21人、境港は7人、安来は13人。非常に人が少ないが業務は増えています。学校支援、全国の図書館との本の貸し借り、レファレンスなど職員が忙しくなって、人手が足りない状態であり、ボランティアにも手伝っていただいている状況です。

このようにいろんな問題を抱えています。

委員のみなさんの図書館が賑わう町になるようどしどし意見を出していただきたいと思います。

3 辞令交付

渡部課長補佐

続きまして辞令交付ですが、今回小学校長会・中学校長会から新たに2名の委員にご就任いただきましたのでこの場で交付を行います。

（辞令交付、並びに自己紹介）
（欠席者の報告、終了予定時間の報告）

4 議事

大原会長

（渡邊副会長、自己紹介）

先灘副館長

「（1）平成19年度決算及び米子市立図書館事業報告について」

勝部委員

（資料を説明）

前回の会で、専門書の充実という意見があったと思いますが、現在の状況を教えてもらえますか。

斉下館長

図書館としましても県立図書館を通じて（大学等と）接触を図るよう取り組んでいますが、物流ルートができてないとはすぐには取り組めない面もあるので、引き続き働きかけをしていきたいと思っています。

大原会長

事業計画には「ネットワーク強化」といった表記がありますが、数字だらけの資料では中身が見えにくいので、資料に工夫をしていただき、会に出た意見がどのようになったか経過がわかるようにしてもらいたいと思います。

斉下館長

専門書については引き続いてということになりますが、一般書については、国内の横断検索とか、医学書は鳥取大学医学部との連携等がございます。

大原委員

裁判員制度が始まることを見据え、法律に関する相談の場を設けるとかコーナーを設置するなどというのはどうでしょうか。

斉下館長

現在、「暮らしの法情報コーナー」を準備中で、秋くらいには整備しようとしています。相談などに応じられるのが理想ですが、まずは書籍の整理を進めて、そういう情報を必要としている方に届くような方向を考えています。

渡邊副会長

子どもの読書活動について詳しく教えてもらえませんか。法や冊子は作られても、米子市も子ども読書に向けて、具体的なことがなされていないと思います。具体的にどんなことに取組まれているのか教えて欲しいです。

伊藤統括司書

子ども読書の日に合わせて、今年度は土曜日である4月21日に特別に読書活動を行いました。午前と午後の2回、かんたん絵本づくり、パネル展示をし

渡邊副会長	て、普段は出来ない「子ども読書の日」のPRを行いました。
大原会長	子どもの読書活動については法律にも、小中学校も連携して推進をしましょうというようなことも書かれていますが、学校と図書館と連携して何か行われているのかお聞きしたいです。子ども読書の日は、子どもの本に関して一緒になって考えるいい機会ですが、なかなか意識してもらえていないのかなと思います。図書館の子ども向けの本が学校等に貸し出されているため図書館に本がないという実情を目にしているため、ビジョンを掲げていただいて学校と図書館が連携して取り組んでいただきたいと思います。
大原会長	子どもの読書への取り組みは大事なことです。では学校では図書館では市では何をするのか、各自治体で読書計画を作らないといけないのに「ビジョン」ということでぼやけてしまっています。それぞれの役割分担がしっかりイメージされていなくて、再度ビジョンを検討していかないと法律が空回りしています。また最初のあいさつで「ねじれ」ということを話しましたが、報告書の中に決算報告書が2つあります。市立図書館は市の直営といいながら指定管理制度に近いカタチをとっており、人件費も別々に出ている中で一丸となって運営出来るのかという危惧があります。他にありますか。
渡邊副会長	図書費の中の児童書の割合はどのくらいですか。
先瀬副館長	約3割です。
大原会長	では続いて「(2)平成20年度予算及び米子市立図書館実施事業について」説明をお願いします。
先瀬副館長	(資料を説明)
大原会長	(資料の見方について補足)何かありますか。
大原委員	資料2の命名権料を図書購入費にあてるとなっていますが、説明をしてもらえますか。
齊下館長	資料2については「その他」で説明させていただく予定でしたが、正式に決まれば基本的に21年度予算に組み込まれます。
渡邊副会長	主要事業についてですが、ここ数年来文化的な事業の実施がありません。10数年前、生涯学習課の事業費の残りを使わせてもらって講演会を開いたところたくさんの市民が参加してくれて、大変な人気でした。図書館でも年に1回でいいので市民が集って楽しめる文化的事業を実施していただきたいです。
齊下館長	この場で具体的な回答は出来ませんが、考えさせていただきます。
神庭委員	前回の会で資料を事前に送って欲しいと申し上げましたが、出来ていませんので、次回からはお願いします。施設が狭いという話がありましたが、1Fフロアはなぜか右側のエリアに人が行き、左側フロアは書庫みたいだという声を聞きます。また仕事から洋書を探しますが、2Fの書庫で人目に入らないところにもよい本もあるので、本の配置に工夫をしてもらいたいです。
大原会長	配置も考えていただきたいですが、施設が狭いために思うようにいかないというのも大きいと思います。「伯耆の国文化創造計画」がどうなっているのか後ほど教えていただきたいと思います。その他はありませんか。
渡邊副会長	ボランティア養成講座をぜひ開いてもらいたいです。ボランティアがきちん

	と役割を果たすためにもそういう機会が必要で、自分たちは実費で県外に研修を受けに行っていますが、市民の要望も聞きながらぜひ実施していただきたいです。
大原会長	いろいろな意見が出ていますので、議事録にまとめて後で送っていただきたいと思います。
松本靖史委員	今の話の中に子ども読書の日について出てきましたが、子どもの読書指導について学校ではどういったことがされているかお聞かせ下さい 学校には今2つの大きなながれが来ています。1つは来年度から英語が入ってくるので、英語の読本が必要になってくるのではないかということ。2つめは23年度から国語に古文・漢文・短歌・近代文学等が入ってくるがそれに対応して蔵書を考えていかないといけないこと。これがきちんとそろえられるか難しいです。また新しい指導要領に「自分の考えを述べる」とあり、情報を整理して人に伝えることが重要視されています。資料を整理する力の養成ということも含めれば3つの大きな流れを認識しています。
大原会長	公立の図書館としてしっかり学校を支援してもらいたいが、資料費が減っている中で、ある本は学校に出していくから図書館に本がない状態になり、子どもを育む環境が出来ていません。
松本修一委員	総合的な学習の時間などで、地域を調べる際にインターネットの他に図書館の蔵書を調べることがありますが、地域をテーマにした書物が少ないという問題があります。もう一つ、読み聞かせ・朝読書に地域の方にも関わってもらって取り組んでいますが、すごく生徒にとって効用がありもっと広めていけたらと思っています。
渡邊副会長	私たちの「ほしのぎんか」でも何校かの学校でお話会をしていますが、たくさん子どもたちが待っていてくれます。しかし子どもたちが次々に本が借りたいが本がない、図書館にも学校図書館にも新しい本が買えないという中では、やはり図書費を上げていくべきだと思います。
大原会長	学校関係のレファレンスというのはどうなっていますか。
伊藤統括司書	毎日メールやFAXで各学校からリクエストが寄せられています。平成9年に各学校に専任の図書職員が配置されてから増え続けています。メーリングリストにより学校同士の相互貸借も増えています。
渡邊副会長	学校側も図書館が忙しくてすぐ回答がもらえないという声もあり、司書の方は一生懸命やっておられると思いますが、やはり人手が少ないと思います。
大原会長	その他にありませんか。
勝部委員	「葉祥明展」では美術館に2万人以上が来場しました。図書館でも展示をされていましたが、こうした機会を捉えて図書館に足を運んでもらい、次につなげていくことも必要だと思います。
渡邊副会長	「葉祥明展」では、図書館でもコーナーを作ってくれたし、ボランティアグループがお話し会もして成果がありました。
神庭委員	「葉祥明展」では読み聞かせもあり大変良かったのですが、美術館に来た方に図書館にも来てもらう何かきっかけをつくると思います。
5	その他

大原会長	説明をお願いします。
齊下館長	(資料2 ネーミングライツについて説明)
大原会長	他に何かありますか。
渡邊副会長	「市政提案」の処理というのはどのようになっていますか。
齊下館長	秘書広報課がとりまとめ、担当課へ回答が求められます。連絡先が分かれば所管課より回答するようになっています。
渡邊副会長	図書館に関することは図書館にはいかないのですか。
齊下館長	昨年度までは生涯学習課が、今年度からは図書館が受けるようになっています。
渡邊副会長	市政提案もさせていただいたことがあります。市役所の駐車場について考えていただきたいと思います。駐車場から図書館まで遠く、子どもが事故に遭いかけた例もあります。途中の道もベビーカーでは通りにくいし、かといって図書館に横付けするわけにもいきません。せめて、駐車場内での場所の設定等考えていただきたいと思います。
齊下館長	米子市の現状からすぐに対応というわけにはいきませんが、出されたご意見についてはこの場で承りましたので、ご理解お願いいたします。
渡邊副会長	あわせて図書館の中もベビーカーを動かしにくいので改装をお願いしたいです。
大原会長	最後に「伯耆の国文化創造計画」についてふれたいと思います。平成16年の新聞報道で、合併債等で「図書館と美術館増築」といったことは発表されましたが、今図書館に関する部会でどういう話になっているか伺います。
齊下館長	図書館ワーク部会としては、基本的には増改築を行うことで、子どもの読書や学校支援などで必要なスペースを作るなど、図書館を運営する中で困っている点を解消していきたいと思っております。まだ、確定ではありませんので現時点で報告できる内容のものではありません。
大原会長	道州制にでもなったら、伯耆の国の文化の中心が倉吉になってしまうのではないかと心配します。旧2中跡への増築といわれていますが、15万都市、20万都市にふさわしい大きな規模で新たな図書館像を作っていただきたいです。旧2中跡はどうなっていますか。
齊下館長	旧2中跡のスペースは用途はともかく何らかの形で有効利用するという考え方です。
大原会長	計画性のない例として境港の図書館が挙げられます。あそこは増築によって入り口が2カ所あります。西部の中心として計画してもらいたいと思います。
神庭委員	近隣で安来の図書館がいいと聞きますが、行ったことがないのですが、どこが違うのでしょうか。
大原会長	図書館と和鋼記念館が廊下続きで、空間が広く、ゆとりあるスペースで書架は高くなく、イスも好みによって選べます。庭に座って読書することも出来ます。資料費は米子と同じくらいでそれだけ十分な予算を割いています。リーダーシップによりますが、米子市はそれが低いということです。
渡邊副会長	図書館を応援する応援団というのは全国的にも広がっているのです。委員の皆

齊下館長	さんも含めて図書館を応援できる体制になればいいなと思います。 図書館の応援という話がありましたが、最後に寄付の報告をさせていただきます。(報告)
大原会長	他の委員さんではありませんか。
川崎委員	仕事をしている女性が開館延長で使いやすくなったという声を伺っています。
渡邊副会長	委員同士で研修し、意見交換して何らかの方向性が出せたらと思いますし、 図書館見学も行けたらいいと思います。
大原会長	長時間ありがとうございました。
渡辺課長補佐	以上で終わりたいと思います。ありがとうございました。